

所沢環境市民の会（仮）プレ設立総会

プ ロ グ ラ ム

(1) はじめに 司会挨拶 （上田）

(2) スピーチ（裏面に紹介文）
小出愛菜（10分）

俵里奈（10分）

(3) 議長選出

(4) 議事 （栗田）

第一議案：経過報告

第二議案：当会名称案について

第三議案：設立宣言案について

第四議案：規約案について

第五議案：グループリーダー選出

(5) 議長解任

(6) 総会終了 司会挨拶 ：入会申込とカンパ要請、総会終了後スタッフ会議を召集

運営スタッフ会議へ
人事案等について

【オープニングスピーチ登壇者】

●俵 里奈 國學院大學3年

『地球に住めなくなる日「気候崩壊」の避けられない真実』という本に出会い、気候変動に危機感を持つ。行動しなくてはと思った矢先、気候変動対策を求める学生ムーブメント「Fridays For Future」と出会い、2020年12月より主に東京支部で活動を始める。現在は主要メンバーではないが、これまで学校講演やイベント登壇に注力してきた。

●小出 愛菜 (一社)we Re-Act 共同代表

2021年3月大学卒業。Fridays For Future Japan 発起人の1人。(一社)we Re-Actを立ち上げ、気候変動をテーマにした音楽ライブイベント『Climate Live Japan』や社会問題を学ぶ場『3.5seed』の企画運営を行なっている。色々な立場の人々を巻き込んで、人と自然に対して思いやりのある社会を目指し、気候変動問題を他人事から自分事化している人を増やしたいという想いで活動中。

【司会進行】

●上田マリノ 環境ナビゲーター

5歳児の母。美大在学中の作品ごみをきっかけに環境問題へ興味を持つ。卒業後はエコをテーマにアイドルとして活動。現在は家事・育児・仕事の合間をぬって、環境に関するイベントや企画、執筆、講演などを行っている。東京商工会議所主催「eco 検定アワード2015」優秀賞受賞。著書に『エコ娘が聞く! 環境世代へつなぐ女性39人(環境新聞社)』。所沢市マチエコアンバサダー。

経過報告

思い起こせば「日本と再生」上映会を行なったのは2017年7月の事でした。その後「所沢のあすを考える市民フォーラム」を立ち上げ、2019年2月にその第5回で「SDGsとソーラーシェアリング」について集会をおこない、4月には「地球環境に学ぶサークル」と「所沢市民ソーラー」とのコラボで「おだやかな革命」自主上映会を、開催しました。同年12月には念願の山宇農園ソーラーシェアリング発電所を建設できました。

世界では2018年にCOP24が開催されました。IPCCの報告を熟読し、一人でストライキを始めたグレタ・トゥーンベリさんがここで講演をしたことはまだ耳に新しいです。そして日本ではフライデーズ・フォー・フューチャー（FFF）を生み出しました。誰の目にも気候変動の危機を理解できる時代に入ってきた中で、2020年は所沢市でも、国でも2050年までカーボンゼロにする取組みが宣言されました。

同2021年7月に「ゼロカーボンシティ宣言所沢」の出前講座を行ない市との関係を模索しました。12月には「ストップ！気候危機 どうする？所沢のゼロカーボン」討論集会を行ないました。ここではエコアイドルとして独自の環境活動を行ってきた女性やFFF出身の若者などがそろい、新たな伊息吹を感じ取る事ができました。

2022年4月「『ストップ！気候危機』で所沢の未来をみんなで作ろう」と題した集会では、市民会議を所沢の地で起こすべく準備会の第1回を開催しました。課題を各自提出してもらい大きく5つに分類できました。6月には「住みよいまちづくりと5つの課題」として準備会の第2回目をおこないました。課題別の議論を深めると同時に、推進する主体としてスタッフメンバーを集め、市民会議設立に必要な宣言や規約作成に入っていくことを表明しました。

7月末には拡大スタッフ会議を行ない、宣言案が議論された所です。以降コロナで実会議が開けない中リモート会議でスタッフが議論を重ね現在に至っている所です。

私の年齢より上の世代の大方はまだ危機感がそれほど大きくないのですが、昨今の気象の異変は下の年代になるにつれて現実の危機として迫ってきております。若い世代が気候変動と向き合い活動できる場所をどれだけ提供することができるかということも、私共には問われている問題だと認識しています。所沢の地において彼ら、彼女らが縦横無尽に活躍できる場を創ることに皆様も是非ご協力ください。

報告者 スタッフメンバー 栗田 彰

名称案

- A 案 所沢環境市民の会
- B 案 所沢環境市民の会 2050

名称についての意見

会の名称にふさわしいと思うものを1つお選びください。	選んだ理由、選んだ名称にプラスでこんな言葉をつけたら良いのでは、などアイデアがあればご記入ください(任意)
グリーンアクション所沢 2050	グリーンアクション: 環境のために行動することの適切な表現 所沢: 地域を明示 2050: カーボンニュートラルの達成目標を表現
グリーンアクション所沢 2050	若干長いけれども、GA 所沢 2050、などと略すことも可能です。
ECOLOZAWA2050	「エコろ〜ん」の誕生を期待して
ECOLOZAWA2050	斬新で多少のユーモアも感じられるので、覚えてもらいやすいのでは？
所沢環境市民会議	
グリーンアクション所沢 2050	2050 年に向けて、市民がさまざまなアクションをしていくんだという決意が現れていて、ゼロカーボンよりもグリーンの方がイメージしやすいから。
所沢環境市民会議	所沢環境市民会議という言葉に、やる気と決意を感じました。
所沢環境市民の会	下記【参考記事】を読んで、以下のように考えました。 1. 参考記事に書かれているように、地球温暖化を止めるためであれば、「二酸化炭素・カーボン」だけでなく「メタン」についても検討することが重要だと思います。「2050ゼロカーボンシティ所沢」という名称は、「カーボン」ばかりに焦点を当てているように感じられ、方法論や議論の幅が狭く限定されてしまう恐れを感じます。 2. 参考記事に書かれているように、「グリーン・緑」である「たんぼ」がメタンを排出する大きな源になっています。「グリーンアクション所沢2050」という名称は、「グリーン・緑さえ増やせばよい」という方向に議論が傾く恐れを感じます。 3. 地球温暖化を止めるための「方法論」や「議論の方向性」があらかじめ決められているような印象を与える「名称」は、「参加者の自由で幅広い議論の妨げ」となる恐れを感じます。 また、「外部の方に対して、あらかじめ方法論や議論の方向性が定められた集まりである」ような印象を与えかねないと感じます。 4. 名称としては、「地球温暖化を止めるため」という「目的」を共有する会であることを示しつつ、「方法論」や「議論」の幅を限定しない名称がよいのではないかと思います。 5. 一案として「地球温暖化対策を考える所沢市民の会」という名称はいかがでしょうか？ 6. 下記の【参考記事】を読んでいただければ幸いです。
2050 ゼロカーボンシティ所沢	「ゼロカーボンシティ」という言葉の浸透につながるとともに、横文字を使わないことで幅広い世代の人が参加しやすくなると思われるため。
所沢環境市民の会	「・・・市民会議」でも賛成ですが、「・・・市民の会」のほうが親しみやすいと思う。
所沢環境市民の会	誰でも、いつでも入会できる感じがする
所沢環境市民会議	「所沢ゼロカーボンシティ実現会議」 目的をそのまま入れて、会議の方向性をはっきりさせたほうが良いかなと思いました。 2050は もっと前に実現してもいいので あえて入れませんでした。
所沢環境市民の会	誰が見ても、「所沢市民が環境活動を行う場所である」ということが良くわかる名称であり、多くの人の参加を考慮すると、この名称が一番良いと思う 頭に「ゼロカーボンシティをめざして!!」を付け加えると良いと思います。
2050 ゼロカーボンシティ所沢	所沢の掲げる理念をそのまま名称にすれば定着もしやすいと思います。
所沢環境市民の会	環境問題について市民の力で考えていこうという名称だと思います。
グリーンアクション所沢 2050	スタートからの経緯から「ゼロカーボンシティ」や「市民会議」を入れたほうがよいだろうと考えましたが、市が主催する「マチごとゼロカーボン市民会議」と混同されそうなので、グリーンアクション所沢 2050 を選びました。「アクション」の言葉が入ることで、自発的な積極性が表現できると思います。
所沢環境市民の会	愛称も付けるのがいいのではないかと思います。

グリーンアクション所沢 2050	行動するというイメージが、わかりやすい『アクション』が入っているから。
ECOLOZAWA2050	
所沢環境市民の会 エコろざわ	愛称は後からでも、ということも上田さんから出ましたが、初めがお堅い名称だけだと若い人がついてこないかも、と思いました。
2050 ゼロカーボンシティ所沢	若い世代・20代～40代の入会・協力が将来のため必須の要件です。市内大学・高校との連携も検討して見て下さい。
所沢環境市民の会	会の名称は固くして、サブの名称で(会名の次段または後ろに～ ～などで必ずつける)人を引きつけてはどうでしょうか。
2050 所沢環境市民会議	理由は、どこのグループでも考えるところでしょうし、ちょっと堅いイメージはありますがちょっと堅いイメージはありますが文字だけを見て誰でも何をやっているのかが理解できるからです。ゼロカーボンを意識すれば、「2050」が接頭語としてほしいところです。
グリーンアクション所沢 2050	所沢市の同目的の名称と明確に区別できると思われる。「マチごとゼロカーボン市民会議」

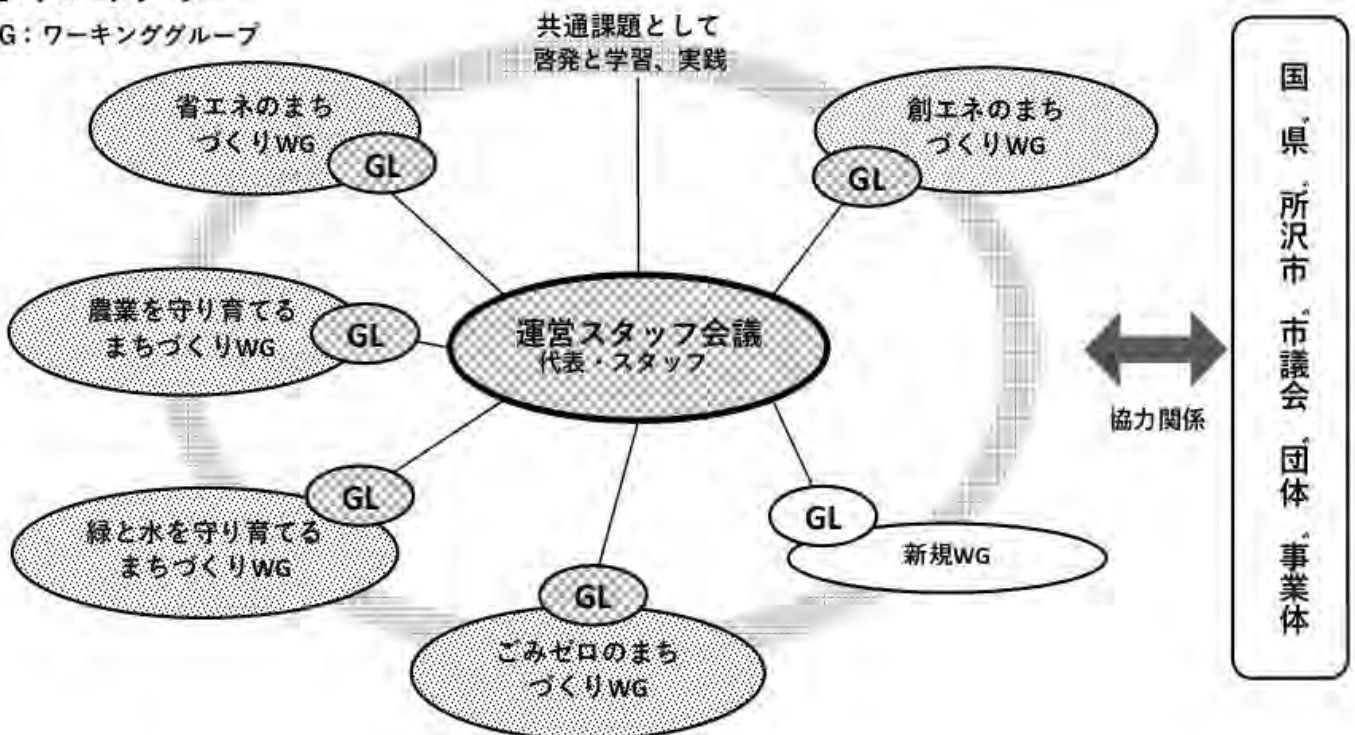
投票参加者 24名 (2022年7月31日から1週間、フォームとメールによる)

所沢環境市民の会	7
所沢環境市民の会 エコろざわ	1
グリーンアクション所沢 2050	6
ECOLOZAWA2050	3
所沢環境市民会議	3
2050 所沢環境市民会議	1
2050 ゼロカーボンシティ所沢	3

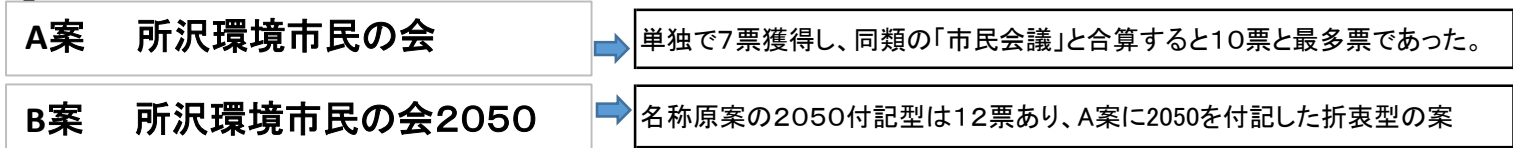
組織のイメージ (ネットワーク型)

2022年9月13日作成

- ※ 各グループの課題は今後深めていく
- ※ GL: グループリーダー
- ※ WG: ワーキンググループ



当会の名称を2案提起します。



1) 8/8の名称案と投票数 (栗田氏作成データを編集したもの)

氏名	会の名称案
栗田	所沢環境市民の会
栗田	所沢環境市民の会
栗田	所沢環境市民の会
栗田	所沢環境市民の会
栗田	所沢環境市民の会
栗田	所沢環境市民の会
栗田	所沢環境市民の会
栗田	所沢環境市民の会
栗田	所沢環境市民会議
栗田	所沢環境市民会議
栗田	所沢環境市民会議

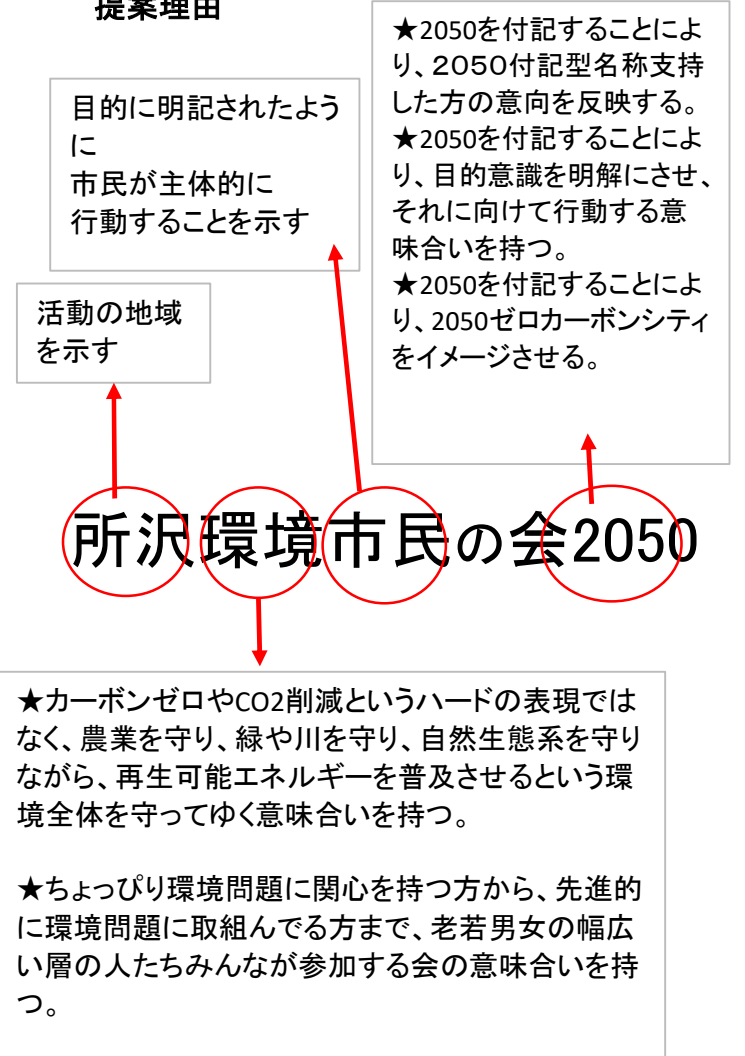
2) 名称案を3類型に分けました。

		票数
同類型	所沢環境市民の会	7
	所沢環境市民会議	3
	小計	10
中間型 (折衷型)	所沢環境市民の会 エコろざわ	1
	2050所沢環境市民会議	1
	小計	2
2050付記型	グリーンアクション所沢2050	6
	ECOLOZAWA2050	3
	2050ゼロカーボンシティ所沢	3
	小計	12
総投票数		24

栗田	所沢環境市民の会 エコろざわ
栗田	2050所沢環境市民会議

栗田	グリーンアクション所沢2050
栗田	グリーンアクション所沢2050
栗田	グリーンアクション所沢2050
栗田	グリーンアクション所沢2050
栗田	グリーンアクション所沢2050
栗田	グリーンアクション所沢2050
栗田	ECOLOZAWA2050
栗田	ECOLOZAWA2050
栗田	ECOLOZAWA2050
栗田	2050ゼロカーボンシティ所沢
栗田	2050ゼロカーボンシティ所沢
栗田	2050ゼロカーボンシティ所沢
総件数: 24件	

★「所沢環境市民の会2050」 提案理由



「所沢環境市民の会（仮）」規約（案）

（設立宣言）

地球温暖化による異常気象と自然災害の多発を食い止めるためには、温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出を抑制しなければなりません。排出抑制は時間との戦いであり、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すため、国連では「2050年カーボンニュートラル」、所沢市では「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言しました。この目標は、世界の国々、日本、自治体、企業、市民のそれぞれが当事者として、同時に力を合わせて取り組まなければ実現できない目標です。

この目標に対し、行政任せにせず、私たち市民も自ら計画を立て、実行する必要があると考えています。また行政や社会へ施策を提言し、時には協働し、取り組みを後押しして行く必要があります。

これまでの準備会では、2021年12月5日、2022年4月10日、6月26日に、皆さんと話し合い、理解を深めてきました。この活動により様々な立場、幅広い世代とつながり、共感する市民の輪が少しずつ広がってきたと実感しております。

課題として、創エネ、省エネ、緑と水を守り育てる、農業を守り育てる、ごみゼロのまちづくり、などが挙がっていて、これらの課題解決に向かっていくためのより実践的な取り組みが必要です。多様な市民がお互いに知恵や経験を出し合い、支え、支えられ、誰もが生き生きと活動するカーボンニュートラルの地域社会をめざすとともに健康で安心、安全なまち、自然や歴史・文化を大切にしたいまち所沢をめざします。この活動に広範な人々への参加を求め、啓発等のイベント、学習なども行ない、行動する場として「所沢環境市民の会（仮）」の設立を宣言します。

（名称）

第1条 この会は、「所沢環境市民の会（仮）」と称す

（目的）

第2条 設立宣言の趣旨を踏まえて、市民自らが行動することを基本とし、2050年までに所沢の二酸化炭素排出量実質ゼロを実現することを目的とする

（会員・賛助会員）

第3条

1. 会員は、所沢市住民および所沢にゆかりのある（在住経験・在勤・在学、近隣居など）個人とする
2. 会員は当会の目的に賛同し、所定の入会金と年会費を納めるものとする
3. 会員はいずれかのワーキンググループに入り、活動することを原則とする
4. 賛助会員は本会の目的に賛同し、その推進に寄与しようとする、市民団体および事業者とする。
5. 賛助会員は推進の助言や共同行動、寄付を行うことができる。
6. 賛助会員は総会に出席し意見を述べることはできる。ただし議決権は有しない。
7. 入退会の手続き・方法は、別途細則に定める

（会計）

第4条

1. 会の収入は、会員の入会金と会費、及び寄付とする
2. 事業年度は、毎年〇月1日から翌年〇月31日までとする

(総会)

第5条

1. 本会の総会は、定期総会および臨時総会とする
2. 定期総会は、代表が招集し、年1回開催する
3. 定期総会は以下の事項を審議議決する。
 - (1) 毎年の活動報告及び活動計画・予算
 - (2) 決算報告及び監査報告
 - (3) 組織・役職人事
代表、副代表、事務局長、監事、会計担当、広報担当、各ワーキンググループリーダーを任命・解任
 - (4) 規約改正など会の運営に関する重要事項
4. 臨時総会は、次の各号のいずれか一つ以上に該当する場合に開催する。
 - (1) 代表が必要と認めたとき
 - (2) 全会員の3分の1以上から請求があったとき
 - (3) 次の定期総会前に審議議決する事項が生じたとき
5. 総会は、会員の3分の1の出席（委任状を含む）で成立する
6. 総会の議長は、出席者の過半数の賛成をもって出席者の中から選出する
7. 総会運営の詳細は別途細則に定める
8. 設立総会については、別途細則に定める

(組織)

第6条

1. 運営スタッフ会議
 - (1) 総会で任命された代表は、副代表、事務局長、会計担当、広報担当、各ワーキンググループリーダーを招集し、運営スタッフ会議を組織する
代表は新たなスタッフ要員を任命できる
 - (2) 運営スタッフの役割
 - ①代表は当会を代表し、会務を統括する
 - ②副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は代表の職務を代行する
 - ③事務局長は、当会の事務を統括する
 - ④会計担当は、当会の会計業務を行う
 - ⑤広報担当は、当会の広報業務を行う
 - (3) 運営スタッフの任期を原則2年とする。但し、再任を妨げない
 - (4) 運営
 - ①会議の議長は、代表または代表が指名した者が行う
 - ②会議は随時開催し、下記の事項を議決する
・総会に付議すべき事項

- ・ 総会の議決した事項の執行に関する事項
 - ・ その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項
- ③ 会議の記録を書記が取り、スタッフに確認のうえ、保存し、公開できるようにしておく

2. ワーキンググループの設置と活動

(1) これまでの準備会議で集約してきた5つの課題を解決するため、以下のワーキンググループ(WG)を設置する

◆創エネのまちづくりWG ◆省エネのまちづくりWG ◆緑と水を守り育てるまちづくりWG ◆農業を守り育てるまちづくりWG ◆ごみゼロのまちづくりWG

なお、今後必要に応じて新たな課題に対するWGの設置ができる

(2) 各ワーキンググループは以下の活動を行う

- ① 定期的に会議を開催し、学習、啓発活動をする
- ② 課題に対し提言や呼びかけを行ない、具体策を実践する
- ③ 活動の詳細は、別途細則に定める

(監事)

第7条

1. 当会に監事を置き、監事は会計が適正に行われているかを監査し、総会に報告する
2. 監事は、運営スタッフとともに、総会にて選出する
3. 監事は、運営スタッフ会議に出席し、発言することができるが、議決権を有しない

(活動制限)

第8条 当会は、選挙活動、営利活動、布教活動を行わない 反社会的勢力とは一切関係しない

(規約の改定等)

第9条

1. 本規約を改定する場合には、総会の承認を得る
2. 本規約で定められていない事項については、別途運営スタッフ会議で協議の上、細則を定め、すみやかに会員に告知する

(事務局の所在地)

第10条 当会の事務局を以下の事務局長宅に置く
埼玉県〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇 〇〇方

附則 本規約は設立総会の承認を得て成立する

制定 2022年〇〇月〇〇日

仮) 所沢環境市民の会 (仮) 細則(案)

本細則は、規約に基づく本会の運営を円滑かつ効果的に行うために定める。

第1条 入退会手続き

1. 入会を希望する者は、所定の入会申込書に必要事項を記載のうえ、入会金と当年の会費を添えて、事務局に提出するものとする。
2. 会員の入会金は500円、年会費は500円とする
3. 小中学生、高校生、大学生は入会金・年会費を無料とする
4. 会員は、退会届を当会に提出し、任意に退会することができる

第2条 賛助会員

1. 賛助会員を希望するものは、所定の入会申込書に必要事項を記載の上、入会金を添えて、事務局に提出するものとする
2. 入会金は1口(1000円)以上の口数とする
3. 賛助会員名は当会の広報紙等にて当会支援団体として公表する

第3条 総会の開催方法

1. 総会手続き

- (1) 定期総会および臨時総会は、会員全員に対し、開催日14日以上前に告知する
- (2) 告知する内容は、以下とする
 - ① 日時および場所
 - ② 開催目的、審議事項および議決事項
- (3) 総会は、公開で行ない、傍聴を妨げない
- (4) 総会終了後すみやかに次の事項を記載した議事録を作成するものとする
 - ① 日時および場所
 - ② 会員の現在数および出席者数(議決権行使書を含む)
 - ③ 開催目的、審議事項および議決事項
 - ④ 議事録署名人の選任およびその署名
- (5) 会員が、総会の議事録の閲覧を請求したときは、これを閲覧させなければならない

2. 設立総会の開催・運営について

- (1) 設立総会に上程する議案を決議する準備会議を設置する
- (2) 準備会議運営スタッフ会議はその議案の原案を作成する
- (3) 準備会議運営スタッフ会議は以下のメンバーで構成される
- (4) 2022年6月26日の集会までにすすんで準備会議に参加した8名

第4条 ワーキンググループ

1. 会員はいずれかのワーキンググループ(WG)に入り、活動することができる

2. 複数の WG に参加することは可能とするが、ホーム WG は明示する
3. 新たなWGの創設もできる
4. ワーキンググループの組織
 - (1) ワーキンググループは課題に対して議論をかさね、意見をまとめ、具体案に取りまとめる。市民としてできることについては実践をする。
 - (2) 会議はグループリーダーが司会進行し、書記を置き、会議録を作成する。
 - (3) 会計を置き、会場費、資料作成費、印刷費などをまとめて、運営スタッフ会計に請求する。
5. 各ワーキンググループの仮の課題（テーマ）
 - (1) 創エネのまちづくり WG の課題（テーマ）

「所沢において、再生可能エネルギーの活用をどのようにして普及させるか。」
 - (2) 省エネのまちづくり WG 課題（テーマ）

「所沢において、化石燃料エネルギーをどのようにして削減してゆくか。」
 - (3) ごみゼロのまちづくり WG 課題（テーマ）

「一般家庭から排出される、すべてのごみを資源化するために、市民のすること、行政のすることを明らかにし、実践する。」
 - (4) 緑と水を守り育てるまちづくり WG 課題（テーマ）

「所沢において、今も残る里山を守り、活性化するために、市民のすること、行政のすることを明らかにし、市民のすることを実践する。」
 - (5) 農業を守り育てるまちづくり WG 課題（テーマ）

「所沢において、食料の自給率を高め、化石燃料をできるだけ使用せず、安全安心な農業をめざす」

第5条 細則の改定等

1. 本細則の改定は、運営スタッフ会議で決定し、速やかに会員に告知する
2. 本細則で定められていない事項については、運営スタッフ会議で協議の上、定める

附則 本細則は、初回のみ設立総会の承認を得て成立する

制定 2022年〇〇月〇〇日

入会申込書

所沢環境市民の会(仮)

私は所沢環境市民の会(仮)会員として入会の申し込みをいたします。

私は当会内において、選挙活動、営利活動、布教活動を行わず、反社会的勢力とは一切関係ありません。

※ すでに準備会でご登録されている方は氏名と参加グループのみの記載でも良いです。

申し込み日:(西暦) 年 月 日

フリガナ			
氏名			
フリガナ			
住所			
自宅電話		携帯電話	
Eメール			
参加グループ	創エネ	省エネ	緑と水を守る 農業を育てる ごみゼロ
☆ご入会にあたってご希望等があればご記入ください。			

カンパのお願い

所沢環境市民の会(仮)では参加のハードルをできるだけ下げる為、年会費等は抑えていますが、運営の資金としてカンパ要請をおこなっております。会場費、チラシ作成・印刷代、資料代、講師料などを賄うため皆様のご支援をお願いします。

入会金	年会費	カンパ
500円	500円	円

※学生の会費等は無料です。

----- 切り取り -----

領 収 書

2022年 9月18日

様

金額 円

入会金 年会費 カンパを領収しました。

所沢環境市民の会(仮)